

平成 30 年度事業計画

【経営方針】 社会福祉法人制度改正に対応した収益の確保、安定した経営実現の為の稼働率・予算管理の徹底。各職員がやりがいを持ち、成長できる職場作り。対人援助技術の向上を目指した研修による、信頼ある施設づくり。

【本部】

1 理事会

開催日	議題
5月26日	平成29年度事業報告と決算・5月度報告
9月29日	9月度報告
翌3月23日	平成31年度事業計画と予算

2 評議員会

開催日	議題
6月9日	平成29年度事業報告と決算

3 監事監査 5月18日（金曜日・PM～）予定

4 その他

- ① 各事業間の交流の場作りとして、一緒にできる行事——てふてふ感謝祭、ふれあい一泊の旅、新年会・成人を祝う会、ボランティアさんに感謝する会——の企画の場作り
- ② 事業の拡大

【生活介護】

1 重点事項

- (1) 一人一人が、社会のルールやマナーを覚え、地域でより良い生活が送れるような支援を行なって行く。
- (2) 作業内容及び取引先の見直しを行い、工賃の確保に努める。また、生産活動での合理化と創作活動（クラブ活動）の充実を図る。
- (3) 利用者及び家族に対し、施設利用の役割と有効性を伝えていき、利用率の向上を図る。
- (4) 利用定員を30名から34名に増やすことにより、利用者の確保に努め、地域資源としての役割を担っていく。

2 開所状況

- (1) 開所日・・・原則月曜日～金曜日（祝日・夏期休業日・年末年始休業日を除く）
※月1回程度、土曜日もしくは日曜日に希望者に対して行事を行う。
- (2) 開所時間・・・9:00～16:00

3 利用者受け入れ状況 定員・・・34名（契約者・・・30名）

4 日課

8:45-9:00	9:00-9:30	9:30-10:35	10:35-12:00	12:00-13:00	13:00-14:10	14:10-15:30	15:30-16:00	16:00-17:15							
ス タ ッ フ 出 勤	メ ー バ ー イ ン グ	体 操	作 業	休 憩	作 業	昼 食	休 憩	作 業	休 憩	創 作 活 動	片 付 け	ミ ニ テ ィ ン グ	メ ン バ ー 退 勤	記 録 付 け	ス タ ッ フ 退 勤

※作 業・・・下請けを中心とした内容（輸入雑貨検品・ガス給湯器バネセット作業・等）
縫製・藍染め・手織り・切り絵・クッキー作りを中心とした内容

※創作活動・・・畑クラブ・芸術クラブ・書き方クラブ・調理クラブ等

5 行事予定

（別紙参照）

6 工賃

- ・工賃の確保の為に、販売の機会を増やしていく。定期イベント以外に参加可能な販売先を模索していく。
- ・利用者数が増加しても、前年度と同額程度の支払いができるように作業の確保を行なう。

7 職員体制

年度途中及び年度変わりに入職した職員の教育期間を確保し、教育終了後は即戦力として動くことができるような新入職員研修を実行していく。

現場の状況としては、2班制を継続し、チーム支援することで、複数の目をもって見逃しのない支援をしていく。また、主任2名を中心とした連携強化に伴い、作業及び行事の担当職員への役割における目的意識と遂行能力のスキルアップを図る。

- (1) 管理者 : 1名 (常勤・サービス管理責任者兼務)
- (2) 主任生活支援員 : 2名 (常勤)
- (3) 生活支援員 : 6名 (常勤4名 非常勤2名 (利用者:支援員=5:1))
- (4) 看護師 : 1名 (非常勤)
- (5) 事務職員 : 1名 (常勤1名は相談支援の事務職員を兼ねる)

※医師・・・嘱託医として桃山診療所(内科)医師

1 0 職員研修予定

- (1) スタッフ会議 (月/1回)
- (2) ケース会議 (月/1回)
- (3) 施設内研修 (年/4回)
- (4) 名障連主催による研修
- (5) 県社会福祉協議会主催による研修
- (6) 県福祉協会主催による研修等

1 0 実習生 (養護学校高等部) 受け入れ予定日

- (1) 6月・11月 (養護学校校外実習期間)
- (2) 7月～8月 (夏休み)、12月 (冬休み)、3月 (春休み)

1 1 ボランティア受け入れ予定

- (1) 常時
- (2) ふれあい一泊の旅・バス旅行・てふてふ感謝祭 (9月・11月)

1 2 地域交流実施予定

感謝祭、徳林寺花祭り、天白区区民祭り、桃山いきいきフェスティバル

1 3 生産活動

- (1) 自主製品作り (技術・品質の向上に重点を置く。)
 - ・藍染め製品・縫製製品 (刺繍雑巾を含めて)・手織り製品・クッキー作り
 - ・その他 (編み物製品・クラフト製品)
- (2) 下請 (効率アップ)
 - ・輸入雑貨検品・リサイクル衣料袋入れ及びシワ伸ばし・段ボール緩衝材作成・ガス給湯器パネセット等
- (3) 販売
 - ・天白区役所 (毎週水曜日 10時～12時)
 - ・ドリームショップてふてふ大根店販売 (毎週木曜日)

※委託販売先の開拓をしていく。

【公用車の確保】(クリッパーのリース期間満了)

1 財団寄贈車両に応募する。

※中古車(軽貨物・軽ワゴン)の購入も視野にいれていく。

平成 30 年度 行事予定

月	法人本部	てふてふ(生活介護)	パピヨン(共同生活援助)
4		徳林寺花祭り：1日～8日 スポーツ大会練習会：22日 個別面談	スポーツ大会練習会：22日
5	理事会：26日(土) 監事監査：18日(金)	障害者スポーツ大会：6日 事業所間フットベース交流会 避難消火訓練	障害者スポーツ大会：6日
6	評議員会：9日(土)	健康診断 業者清掃	
7		ふれあい一泊の旅(1回目)	ふれあい一泊の旅(1回目)
8		ふれあい一泊の旅(2回目) 夏季休業：13日～15日 避難訓練	ふれあい一泊の旅(2回目)
9	理事会：29日(土)	支援計画モニタリング バス旅行	
10		個別面談 天白区区民祭り：21日	
11		感謝祭：3日 業者清掃 福祉と映画のつどい	感謝祭：3日
12		仕事納め忘年会：15日 年末年始休業：29日～3日	
1	新年会：19日	初詣：4日 新年会：19日	新年会：19日
2		避難訓練	
3	理事会：3月23日(土)	支援計画モニタリング 梅まつり	
月毎/ 週毎	機関誌発行：3回/年	第1木曜 スタッフ会議 第2木曜 家族会会議 第3土曜 行事の日・ケース会議 ※施設内職員研修 第4金曜 メンバー・スタッフ会議 毎週水曜 天白区役所販売 毎週木曜 てふてふ大根店 随 時 外部研修	誕生日会：3ヶ月毎

【共同生活援助】

- 1 目標…2 つの居住場所を一括した支援体制を整え、快適な生活を目指していく。
 - ① 勤務職員の配置を固定しないで流動的にどちらも勤務できる体制作り。
 - ② 祝日土日にホーム利用者と外出を行う。誕生日会食を行う。
 - ③ 利用者宛てへの書類の支援、通院等の引率を行う。
- 2 事業所の名称及び所在地
『グループホームパピヨン藤が丘』名古屋市名東区藤が丘 33 番地の 1
『グループホームパピヨン豊が丘』名古屋市名東区豊が丘 2708 番地
- 3 開所状況…365 日
- 4 職員の職種、員数
 - (1) 管理者 1 名 (常勤：サービス管理責任者兼務)
 - (2) サービス管理責任者 1 名 (常勤：管理者兼務)
 - (3) 世話人 1 3 名 (常勤：生活支援員兼務 2 名、非常勤：11 名、内生活支援員兼務 1 名)
 - (4) 生活支援員 3 名 (常勤：世話人兼務 2 名、非常勤：1 名世話人兼務)
- 5 利用者受け入れ状況 …16 床
- 6 実費 (一人当たり月額試算)
 - (1) 食材料費 月額 20,000 円
 - (2) 家賃 月額 27,000 円 (修繕積立 2,000 円を含む)
※豊が丘家賃月額 35,000 円 (内修繕積立 2,000 円)
 - (3) 光熱水費 月額 10,000 円
 - (4) 日用品費 月額 4,000 円
 - (5) 金銭管理 (年金管理 3,000 円 通帳管理 2,000 円)
 - (6) その他日常生活においても通常必要となるもの
- 7 夜間体制
緊急夜間体制・・・管理者及びサービス管理責任者を窓口とする。
夜勤・宿直体制・・・必要時に行う。
- 8 職員研修予定
 - (1) スタッフ会議 (月/1 回)
 - (2) ケース会議 (月/2 回)
 - (3) 名障連主催による研修
 - (4) 県社会福祉協議会主催による研修
 - (5) 県福祉協会主催による研修等
- 9 協力医療機関・・・医療法人福友会福友病院

【短期入所】

- 1 目標…稼働率アップを目指していく。
 - ① 短期入所利用申し込み者の面談を行い、新規利用者もどんどん受け入れていく。
 - ② 担当職員を配置する。
- 2 事業所の名称及び所在地
てふてふショートホーム：名古屋市名東区藤が丘 33 番地の 1
『ショートスティパピヨン藤が丘』
- 3 開所状況…365 日
- 4 職員の職種、員数
 - (1) 管理者 1 名（常勤：共同生活援助の管理者兼務）
 - (2) 世話人 13 名（常勤 2 名、非常勤職員 11 名：調理員兼務）
 - (3) 調理員 13 名（常勤 2 名、非常勤 11 名：世話人兼務）
- 5 利用者受け入れ状況 … 1 床
- 6 実費（一日当たり試算）
 - (1) 水光熱費・・・500 円（1 泊）
 - (2) 食事・・・・朝 300 円・昼食 400 円・夕食 600 円※例 夕食一泊一朝食→1,400 円
- 7 夜間体制
緊急夜間体制・・・管理者を窓口とする。
夜勤・宿直体制・・・必要時に行う。
- 8 職員研修予定
 - (1) スタッフ会議（月/1 回）
 - (2) ケース会議（月/2 回）
 - (3) 名障連主催による研修
 - (4) 県社会福祉協議会主催による研修
 - (5) 県福祉協会主催による研修等
- 9 協力医療機関・・・医療法人福友会福友病院

【相談支援】

1 目標

緊急時における対応に迅速に相談にのっていく事に努める。

2 開所状況

(1) 開所日・・・原則月曜日～金曜日

(国民の祝日、12月29日から1月3日までを除く)

(2) 開所時間・・・9：00～16：00

※管理者と相談支援専門員が不在時の連絡は、併設の事業所からの連絡が行われる体制をとる。

上記の営業日、営業時間のほか、電話等により緊急時の連絡が可能な体制をとる。

3 職員の職種、員数

(1) 管理者 1名（常勤：相談員兼務）

(2) 相談支援専門員 1名（常勤：管理者兼務）

(3) 事務員 1名（常勤：生活介護の事務員兼務）

4 主たる対象の障害の種類は、特定しないものとする。

5 通常の事業の実施地域は、名古屋市全域の区域とする。

6 相談支援の内容

(1) 基本相談支援

(2) 障害者及び障害児の支援事業者等の情報提供

(3) 訪問によるアセスメント

(4) サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成及び変更

(5) サービス担当者会議の開催等による専門的な意見の聴取

(6) 訪問によるモニタリング

(7) 地域定着相談支援

(8) 地域移行相談支援

7 職員研修予定

(1) 天白区自立支援協議会による研修

(2) 名障連主催による研修

(3) 県社会福祉協議会主催による研修

(4) 県福祉協会主催による研修等

8 利用件数…昨年度を踏まえ、60件ほどと考える。